

事務局：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル

電話 / FAX : 03-5740-9505 e-mail : 最後のページ参照

日本教育工学会ホームページ <http://www.jset.gr.jp/>

ISSN 1340-9913

## 日本教育工学会 第24回全国大会のお知らせ（第四報）

日本教育工学会第24回全国大会を、下記のように上越教育大学において開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

### 1. 開催期日・会場

期日：2008年10月11日（土）～13日（月）（3日間）

会場：上越教育大学 〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

JR北陸本線・信越本線「直江津駅」よりバス20分、タクシーで約15分。JR信越本線「高田駅」よりバス15分、タクシーで約10分。直江津駅、高田駅より直行バスを運行する予定（片道200円）。

<http://www.juen.ac.jp/gakkai/jset2008/access.html>

### 2. 大会日程

第1日 10月11日（土）	第2日 10月12日（日）	第3日 10月13日（月）
9:30～10:00 受付	9:00～ 9:30 受付	9:00～ 9:30 受付
10:00～12:00 一般研究発表1	9:30～12:30 一般研究発表3	9:30～12:30 一般研究発表4
12:00～13:30 昼食 各種委員会	12:30～14:00 昼食	12:30～13:30 昼食
13:30～15:30 シンポジウム1	理事・評議員会	大会企画委員会
15:40～18:20 一般研究発表2	14:00～14:30 全体会	13:30～16:00 課題研究発表
	14:30～17:15 シンポジウム2	
	17:15～18:00 移動	
	18:00～20:00 懇親会	

\*プログラム編成によっては、時間帯が若干変わることもあります。また、企業展示が11日（全日）、12日（16時まで）に催されます。ぜひ見学にお立ち寄り下さい。なお、2日目の全体会では、研究奨励賞及び論文賞の表彰等があります。

#### 本号目次

第24回全国大会のお知らせ（第四報）	1	論文誌特集号のご案内（第二報）	12
2008年度6月シンポジウム報告	7	総会・理事会議事録	13
研究会開催案内／発表募集／報告	9	新入会員／学会日誌等	16

### 3. 各セッションについて

#### (1) シンポジウム

以下のようなテーマが予定されています。

##### シンポジウム1

シンポジウム1A ソーシャルネットワーキングの広がり と 教育利用

コーディネータ（五十音順，以下同様）：金西計英（徳島大学），室田真男（東京工業大学），森田裕介（早稲田大学）

司会：金西計英（徳島大学），森田裕介（早稲田大学）

話題提供者：安武公一（広島大学大学院），風間一洋（日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所），庄司昌彦（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター），虎岩雅明（NPO法人TRYWARP）

指定討論者：加藤 浩（メディア教育開発センター）

シンポジウム1B 実践研究をどのようにデザインし，論文にまとめるか

コーディネータ兼司会：木原俊行（大阪教育大学），清水康敬（メディア教育開発センター）

提案者：稲垣忠（東北学院大学），植野真臣（電気通信大学）

コメンテーター：山内祐平（東京大学）

シンポジウム2 教師教育の再考－専門職としての教師の資質能力の規準とその育成方法－

コーディネータ：南部昌敏（上越教育大学），東原義訓（信州大学）

司会：南部昌敏（上越教育大学）

基調講演者：デービット・イミグ（メリーランド大学）

提案者：東原義訓（信州大学），福島裕敏（弘前大学），藤田武志（上越教育大学），吉崎静夫（日本女子大学）

指定討論者：小柳和喜雄（奈良教育大学）

#### (2) 課題研究

以下のような6件のテーマの設定が予定されています。なお，課題研究は，各課題について十分に討論することを目的としていますので，発表者は，発表だけで退席することなく，最後の総合討論に参加しなければなりません。この点，ご注意ください。

- K-1 つながりメディアの教育利用－モバイル，ユビキタス，ロボットアバタ，SNS等－  
コーディネータ：緒方広明（徳島大学），高井尚一郎（内田洋行），中原 淳（東京大学）
- K-2 教育工学分野における新しい技術を活用したシステム開発の展開  
コーディネータ：金西計英（徳島大学），林 敏浩（香川大学），室田真男（東京工業大学）
- K-3 ICTを活用した教育システムをどのように評価するのか  
コーディネータ：久保田賢一（関西大学），栗山 健（学習研究社），向後千春（早稲田大学），平嶋 宗（広島大学）
- K-4 初等中等教育におけるICT活用のデザイン・実践・評価  
コーディネータ：高橋 純（富山大学），森田裕介（早稲田大学）
- K-5 情報教育研究・実践の方向性－教育課程の改訂を受けて－  
コーディネータ：小泉カキ（尚美学園大学），中橋 雄（武蔵大学），野澤敏夫（東京書籍）
- K-6 新しい時代に対応する学力，それを育む授業・カリキュラム  
コーディネータ：新地辰朗（宮崎大学），田口真奈（京都大学），野中陽一（横浜国立大学）

#### (3) 一般研究

一般研究発表は以下のテーマのセッションで行われる予定です（発表申し込みの状況に応じて，統合・分割など，セッションの調整を行うことがあります）。

なお，今大会も，一般研究発表については，口頭発表とポスター発表が実施されます。ポスター発表

者は、発表セッションの定められた時間帯に、ポスター前で説明及び討論に従事しなければなりません。

(1)語学教育・国際理解 (2)情報教育Ⅰ(情報活用能力の育成等) (3)情報教育Ⅱ(教科指導等) (4)メディア教育・メディアリテラシー (5)教師教育 (6)特別支援教育 (7)生涯学習・企業内教育 (8)看護・福祉教育 (9)教育評価・データ解析 (10)授業研究 (11)授業設計・実践 (12)高等教育における教育方法 (13)教育ソフトウェア開発・評価 (14)学習コンテンツ開発・評価 (15)遠隔教育・遠隔学習 (16)認知モデルと知的学習支援システム (17)インターネットを利用した授業実践 (18)教育メディア (19)e-Learning (システム) (20)e-Learning (運用・評価) (21)協調学習と協調作業 (22)ワークショップ (23)その他

#### (4) International Session

発表及び質疑応答が英語で行われます。本セッションは、教育工学研究の国際化に対応するものであるとともに、特に若い研究者に対しては、国際学会等での研究発表や討論を有意義なものとするための体験を提供する機会でもあります。発表は一般研究発表のいずれかのセッションと同じ時間帯で行われます。

#### ◆発表時間について

発表時間は以下の予定です(発表件数に応じて変わる場合があります)。

[課題研究] 課題研究の趣旨説明10分 研究発表各15分 総合討論1時間程度

[一般研究] <口頭発表>発表13分 質疑応答5分

<ポスター発表>1セッション(在席責任時間は60分)

[International Session] 発表13分 質疑応答5分

#### 4. 大会までのスケジュール

8月28日(木) 発表者以外参加費等事前送金期限(郵便振替の場合、それ以降は送金しない)

9月4日(木) 発表者以外参加費等事前送金期限(クレジットカード支払いの場合、それ以降は送金しない)

#### 5. 大会の参加申し込み及び受付等について

大会に参加を希望される方は以下の手順に従って、申し込みをお願いします。

##### (1) 事前送金の場合の参加費等について

事前に参加費等を送金される場合は、以下の金額を、郵便振替の場合は8月28日(木)までに、クレジットカード支払いの場合は9月4日(木)までに、送金してください。それ以降に送金された場合は、当日参加の場合との差額を会場でお支払いいただきます。

参加費	正・准・名誉会員	2,500円(当日は4,000円)
	学生会員	1,500円(当日は3,000円)
	非会員	3,000円(当日は4,000円)
懇親会費		5,000円(当日は6,000円)
弁当代		1,000円(1食分、当日受付は不可)
講演論文集代(CD-ROM付)		6,000円
講演論文集の送料(参加されない場合)		1,000円

8月28日(木)までの変更については、返金は致しませんが、送金なされた分を次年度の年会費に振り替えることができます。学会事務局(世田谷) [office-s@jset.gr.jp](mailto:office-s@jset.gr.jp)までご連絡ください。非会員の場合は入会をしていただくこととなります。この日以降は、変更を連絡いただいても、原則として返金等ができないことをご了解ください。

大会参加費と論文集代を事前に送金したけれども、学会事務局に連絡することなく、大会に参加されなかった場合には、その旨を学会事務局(世田谷) [office-s@jset.gr.jp](mailto:office-s@jset.gr.jp)までご連絡ください。論文集をお送りします(送料は参加費で補填いたします)。ただし、その差額は返金できません。

卒業見込み年月が過ぎた学生会員で継続の連絡がない場合は、「准会員」に会員種別が変更されています。学生会員としての特典はありませんので、ご注意下さい。

## (2) 事前の送金と参加登録について（今年から変更になりました）

今年の全国大会から、会員と非会員で参加費等が異なります。JSETホームページ (<http://www.jset.gr.jp/>)の「大会参加」ページにアクセスしてください。その画面で、①正会員・准会員・名誉会員の場合、②学生会員の場合、③非会員の場合を選択できますので、それぞれの場合の説明に従って参加登録と送金手続きをお願いします。

また、送金方法として、3つの方法が準備されます。それらは、①クレジットカードによる支払い、②郵便振替、③当日会場で現金で支払いです。

なお、事前に送金をしていただける場合は、クレジットカード支払いと郵便振替のどちらかの方法をご利用下さい。

### ①「クレジットカードによる支払い」の場合

- ・ 上記の「大会参加」ページで、「クレジットカードによる支払い」を選択してください。
- ・ ただし、その際には学会から発行してご連絡してありますID・パスワードが必要です。パスワードをお忘れになった場合は再発行いたしますので、学会事務局（世田谷）office-s@jset.gr.jpに、電子メールでご連絡ください。
- ・ その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。
- ・ なお、学生割引は正規の学生会員に限ります。そのため、登録されている学生会員以外は割引価格では送金できないようになっています。

### ②「郵便振替」の場合

- ・ 会員が郵便振替で送金される場合も、上記の「大会参加」ページで、「郵便振替」を選択してください。
- ・ その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。その際表示される金額と送金内容を学会からニューズレターと一緒にお送りする郵便振替用紙に記入して、郵便局の窓口から送金してください。なお、必ず会員番号をお書きください。
- ・ 学会事務局では入金確認後に、会員データベースに入力します。郵便局の窓口から送金されてから1週間から10日かかりますので、送金日はそれを考慮してください。
- ・ 不足料金がある場合、電子メールアドレスがわかる方にはできるだけ事前に連絡しますが、全員にはご連絡できないことも想定されますので、十分ご注意ください。

### ③「当日会場で現金で支払い」の場合の事前登録

- ・ 「当日会場で現金で支払い」の場合でも、参加登録を事前にさせていただきますと、会場での受付が非常に簡便になります。
- ・ この場合、上記「大会参加」ページで「当日会場で現金で支払い」を選択してください。
- ・ その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。
- ・ 登録内容が自動的にメールで送信されますので、それをプリントして当日会場受付にお出してください。当日、参加票に記入する必要がなくなります。

### ④昼食（弁当）について

- ・ 会場周辺に食堂・レストランがありませんので、弁当（1,000円）の販売をいたします。
- ・ ただし、販売は、事前に送金される場合に限ります。上記の参加登録形態が「当日会場で現金で支払い」の場合には弁当を予約できません。
- ・ 弁当代の事前送金は、上記①あるいは②の登録の過程で申し込みできます。

## (3) 大会受付票等の送付について

事前送金された方々には、大会受付票等を9月中旬までにお送りします（予定）。

- ・ クレジットカード支払い、あるいは郵便振替で事前送金された参加者には、9月中旬までに、「大会受付票」「大会参加証(名札用)」「領収書」を電子メールの添付書類でお送りします。
- ・ 大会当日は、電子メールで送られた「大会受付票」等をプリントしてお持ち下さい。
- ・ ただし、電子メールアドレスが登録されていない会員には、大会受付票等が送られませんので、当日会場でその旨お申し出ください。

## (4) 当日の受付について

### ①事前送金済みの場合

- ・ 大会受付の「事前送金済参加者」窓口で、電子メールでお送りした「大会受付票」をお渡し下さい。
- ・ 大会プログラム、大会論文集等をお渡しします。

- ・ プリントして持参していただいた「大会参加証(名札用)」を名札ケースにお入れ下さい。
- ・ 大会受付票をお忘れになる場合に備えて、できれば受付番号をメモしておいてください。
- ・ 大会受付票を紛失された方は、「事前送金参加受付票」に必要事項を記入の上、「事前送金済参加者」窓口にて、その旨、お申し出ください。
- ・ 送金金額に不足があり、大会当日に差額をお支払いいただく場合も、「事前送金済参加者」窓口でお受けします。

## ②当日参加の場合

- ・ 当日参加者は、大会受付にて、「当日参加受付票」に必要事項を記入して、それを大会受付の「当日参加者」窓口にてお渡し下さい（名刺をお渡し下さる場合は、連絡先住所等の記入を省略することができます）。
- ・ ただし、学会ホームページから参加登録を行った会員は、自動送信されたメールをプリントしてお持ちください。会場で「当日参加受付票」に記入していただく必要がなくなります。
- ・ お支払いいただいた金額に応じて、大会プログラム、大会論文集等をお渡します。
- ・ 名札ケースに名刺を入れるか、お名前をカードに書いて入れてください。
- ・ 懇親会費を支払われた場合は、名札にマークをはらせていただきます。

## (5) その他

- ・ 学生割引は本学会の正規の学生会員に限ります。そのため、学生会員以外が割引価格の金額を送金された場合は、差額を申し受けます。
- ・ 名札ケースは、最終日のお帰りの際に、ご返却下さい。
- ・ なお、今年度、大会の開催にあたって、新潟県から補助をうけることになりました。そのため、大会終了後に、参加者リスト（氏名、都道府県名又は所属）を提出することになっております。ただし、県としては県内外参加人数の確認のためだけにリストを使用することになっており、それ以外の目的に使用されることはありません。どうぞご了承くださいますようお願いいたします。もし差し支えある場合は、その旨ご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

## (6) 発表取り消しについて

やむを得ない事情で発表を取り消しなさる場合には、すみやかに、学会事務局（五反田）office-g@jset.gr.jpまでご連絡ください。その場合には、論文集に原稿が掲載されていても、発表者の業績としてみなすことはできません（学会から提供する発表リストから削除します）。なお、ポスター発表については、ポスターを掲示していても発表者が会場にいない場合は、発表取り消しとなりますので、ご注意ください。

## 6. 会場の設備について

口頭発表のすべての会場で、PCを投影できる設備（プロジェクタ）が利用可能です。口頭発表会場にはインターネットにアクセスできる環境は用意されていません。OHPあるいはOHCの利用を希望なさる場合は、事前に下記実行委員会にお知らせください。機器の利用確認は、当該の発表セッション開始5分前までに発表者の責任で完了してください。また、PCから音声を流す場合は、スピーカーを発表者自身でご用意ください。

ポスター発表の会場では、幅1メートル・高さ2メートル程度のポスター掲示用パネルを用意します。また、パネル前に長机（高さ70センチメートル程度）を用意しますので、配布資料やデモンストレーション用のパソコン等を置くことが可能です。ポスター発表会場にもインターネットにアクセスできる環境は用意されていません。また、電源は使用できません。

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 石川真研究室気付

日本教育工学会第24回全国大会 実行委員会事務局 宛

電子メールでの問い合わせ先： jset-conf@juen.ac.jp

## 7. 企業の展示について

大会期間中の第1日目及び第2日目に、企業による製品等の展示も行います。引き続き、出展ならびに大会プログラム等における広告を募集いたします。ご希望の方は、大会企画委員会企業展示ワーキンググループ (tenji2008@jset.gr.jp) へお問い合わせください。

## 8. 宿泊案内について

下記のWebページにて宿泊のご案内をしておりますので、早めに手続きをお願いいたします  
(<http://www.juen.ac.jp/gakkai/jset2008/shukuhaku.html>) .

## 9. 問い合わせ先

大会全般に関しては以下にお問い合わせください.

日本教育工学会 大会企画委員会問い合わせ用電子メールアドレス : taikai2008@jset.gr.jp

### 大会企画委員会

委員長 :

木原俊行 (大阪教育大学)

副委員長 (五十音順, 以下同様) :

東原義訓 (信州大学)

室田真男 (東京工業大学)

幹事 :

金西計英 (徳島大学)

森田裕介 (早稲田大学)

委員 :

石川 真 (上越教育大学)

緒方広明 (徳島大学)

久保田賢一 (関西大学)

栗山 健 (学習研究社)

小泉力一 (尚美学園大学)

向後千春 (早稲田大学)

新地辰朗 (宮崎大学)

高井尚一郎 (内田洋行)

高橋 純 (富山大学)

田口真奈 (京都大学)

中橋 雄 (武蔵大学)

中原 淳 (東京大学)

南部昌敏 (上越教育大学)

野澤敏夫 (東京書籍)

野中陽一 (横浜国立大学)

林 敏浩 (香川大学)

平嶋 宗 (広島大学)

担当副会長 :

野嶋栄一郎 (早稲田大学)

アドバイザー :

赤堀侃司 (東京工業大学)

清水康敬 (メディア教育開発センター)

### 大会実行委員会

委員長 : 南部昌敏 (上越教育大学)

委員 :

石川 真

井上久祥

久保田善彦

田島弘司

北條礼子

山崎貞登

黎 子椰

(いずれも上越教育大学)

# 2008年度 6月シンポジウム報告

## シンポジウム1

### 科研費による研究プロジェクト

#### 『学力向上と学校におけるICT活用の効果に関する総合的・実証的研究』の研究成果を中心として

本学会では、2006年に学会の研究テーマの軸を「教育方法・システムを高度化する教育工学研究の推進」とし、主に3つのテーマについて重点的に取り組むこととなりました。上記タイトルにある研究プロジェクトは、3つのテーマのうち主に「高度で効果的な教育方法の開発と普及に関する研究」に関連するものとして実施されました。シンポジウムでは、聖心女子大学の永野和男氏の司会により、2006、2007年度の2年間にわたって行われた同プロジェクトの活動を中心とした研究成果の報告と討論を行いました。

第一登壇者として、大阪教育大学の木原俊行氏は、ICT活用と学力向上の関係について、大規模調査から読み取れる傾向と問題を報告しました。1万以上の小中高等学校や教育委員会を対象にした調査結果から、ICT環境の整備と活用には連関があること、教育委員会や学校における情報担当者がそれぞれの組織に適切に位置付けられてはいないこと等を指摘しました。次いで、小中学生約5700名や教員約1500名等を対象にした調査から、ICT活用あり群に属する教師たちが指導する小学生は、そうでないものに比べて、教科学力等に関して統計的に有意に高い得点を獲得していたこと、中学生の場合にもそれに準じた結果が得られたことも報告しました。木原氏は、ICT活用と学力向上の関係を確かなものにするためには、学校のマネジメント力、管理職やミドルリーダーのリーダーシップが重要であることを主張しました。

第二登壇者として、和歌山大学の豊田充崇氏は、ベテランと若手2名の教師が日常的にICT活用をした授業について、長期的に観察し分析した結果及び学力向上への影響について報告しました。ICTの導入初期には、授業準備の手間などの問題はあったものの、授業へ集中度や発言数の向上が見られたことや、導入6ヶ月後にはコンテンツの質だけではなく提示方法にも工夫が必要となったことなどを示しました。また、学力向上については両者ともに理科は上昇したこと、ICTは教師が指導の得意な教科においては効果的に活用できるが、授業設計上の問題や指導力のなさを補うツールにまでは至らないことなどを報告しました。

第三登壇者として、メディア教育開発センターの堀田龍也氏は、特にICT活用のエキスパート教師に着目し、教師の力量とICT活用及びその分析結果について報告しました。ICT活用のエキスパート教員は、対象とする学力によって、ICT活用をする・しないを自在に使い分けていること、例えば活用するケースには習熟のための繰り返しやノート指導などがあり、活用しないケースには表現力などの高次な学力の育成や児童の内面の成長を促す場合などがあることを示しました。また、教室のICT環境は、いつでも使えるようにしていることは共通であるものの、教師それぞれの授業の仕方が異なるのと同時に、教師それぞれに設置形態等にこだわりがあるなどの報告がありました。

3名の登壇者の話題提供を受け、指定討論者である東京工業大学の中山実氏から、ICT活用と学力向上にどのような因果がありモデル化が可能であるか、教師の力量の影響はどのくらい大きいのかといった質問がなされました。さらに、ICTの導入は従来型授業・学習が前提であるかとの質問については、従来型の授業には高い価値がある、しかし学級内等における様々な問題からその実現が難しくなっている現実の中でICT活用が力を発揮するであろうといった議論もなされました。永野氏の司会のもと、熱心な討議が続きました。

(文責 富山大学 高橋純)





## シンポジウム2

### 「我が国の高等教育の行方と教育工学～経営，経済，社会的視点を活かして～」

21世紀は「知識基盤社会」の時代であり，高等教育は人間形成，社会・経済・文化の発展，国の国際競争における戦略の上で極めて重要なものでありながら，現状では高等教育は社会のニーズに応えるものとは変革できていません．このシンポジウムでは，高等教育の改革について，大学経営の立場，大学の外からの立場で関わっている方々をお招きし，それぞれの立場の視点と教育工学との接点を探ることをねらいとして行われました．

第一登壇者として，特定非営利活動法人学習開発研究所の西之園晴夫氏から「教育工学の立場から高等教育を考える～ヨーロッパからの経験からの教訓～」と題した基調講演が行われました．西之園氏は高等教育がエリート教育からマス教育，さらにユニバーサル教育へと発展する中で当面している問題とその理由を主として経済的視点から指摘されました．世界における日本の現状について，所得格差，大学の授業料，出生率と教育費の高さ，マンモス大学の在学学生数，ネットワークアクセス等の多数のデータが示され，それらに基づき教育工学が今後研究すべき課題が提示されました．

第二登壇者として，関西国際大学の濱名篤氏から「大学経営の立場から」と題した報告が行われました．グローバル化，ユニバーサル化による大学の多様化，学生の多様化，学習しない大学生，大学中退，就職離職率，など大学が抱える多様な課題が示されました．そして最後に教育工学への期待として，① TeachingからLearningへの主導，②アウトカム評価への貢献・参画が提案されました．

第三登壇者として，株式会社東洋経済新報社の三上直行氏から「ビジネスマンは大学のここが知りたい！～経済誌の視点から～」と題した報告が行われました．経済誌としては大学を，経営体（ヒト，モノ，カネ，情報），役に立つ大学（費用対効果，顧客満足度），大学の「見える化」（定量化，比較可能性）という視点で捉えていることが説明されました．大学には「説明責任」が求められているものの，「本当の実力」が抜け落ちるリスクもあるため，本当のことがわかる情報発信を求めていることが語られました．

以上の基調講演・報告の後，株式会社内田洋行の大久保昇氏の司会のもと，フロアとの質疑応答が行われました．「TeachingからLearningに転換するため組織としてどのようにすればよいのか」や「学士力とは何か」等会場からの質問に対し，各登壇者より回答がなされ，多様な立場から高等教育の今後の在り方について議論がなされました．



(文責 兵庫教育大学 永田智子)



## 研究会の開催

研究会  
2008

## テーマ

## 学校図書館と情報教育／一般

- 日 時：2008年 9月 6日（土）
- 会 場：玉川大学（玉川学園マルチメディアリソースセンター）  
（〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1）
- 担 当：河西 由美子（玉川大学） [ykasai@edu.tamagawa.ac.jp](mailto:ykasai@edu.tamagawa.ac.jp)

## プログラム

発表時間：発表1件につき25分（発表20分程度，質疑5分程度）

会場： A会場（マルチメディアシアター） B会場（メディアラボ） C会場（絵本コーナー）

## 10:00-10:10 開会挨拶・諸連絡

## 10:10-11:25 午前の部

- A1) 学校図書館を利用したレポート・プレゼンテーション作成の指導  
青山比呂乃（千里国際学園図書館）
- A2) 学校図書館における情報リテラシー育成の意義と課題 —東京学芸大学附属小金井小学校における  
図書館利用指導の実践を通して—  
中山美由紀（東京学芸大学附属小金井小学校），野口久美子（筑波大学大学院），  
野口武悟（専修大学）
- A3) 情報リテラシーを育成する専門職としての学校図書館専門職モデルの構築  
河西由美子（玉川大学）
- 
- B1) 感性語をもとにした読書支援システム  
原田隆史（慶應義塾大学）
- B2) 図書を話題にしたブログでの児童が発信するメッセージにおける語彙の広がり  
須田幸次（兵庫教育大学），永田亮（甲南大学），掛川淳一・森広浩一郎（兵庫教育大学）
- B3) オンラインデータベースを利用した学校図書館での学習支援・情報探索  
平野誠（中央大学附属高等学校）
- 
- C1) 学部から大学院につながる体系的な観察実習の方法に関する研究  
小柳和喜雄（奈良教育大学）
- C2) 「書くこと」の阻害要因の抽出と構造に関する一考察  
南和美（鳴門教育大学大学院），村川雅弘（鳴門教育大学）
- C3) 図読メソッドの開発と試行  
瀬川良明（北海道教育大学），市川恵幸（札幌市教育センター）

## 11:25-12:55 昼休み

当日はまだ大学が夏期休暇期間中のため，学内のすべての食堂が営業をしておりません。参加者にはお弁当（崎陽軒シウマイ弁当（お茶付き）900円（予定））の事前予約をお勧めいたします。8月20日までに上記河西までメールでお申し込みください。

## 12:55-14:35 午後の部第一部

- A4) 中学校・高等学校の生徒の情報活用スキル習得度の調査  
塩谷京子（静岡市立森下小学校），堀田龍也（メディア教育開発センター）
- A5) 学校図書館メディア・プログラムにおける児童生徒の学習達成度に関する研究手法について  
大作光子（筑波大学大学院）
- A6) 情報科と国語科の合同カリキュラムモデルとしての玉川学園「学びの技」の構築  
後藤芳文・古川義雄・福島毬子・引地麻理・白壁夏美・蒲山輝男・伊藤史織（玉川学園 高学年），  
河西由美子（玉川大学）
- A7) 司書教諭講習「情報メディアの活用」への演習形式導入の提案 —伝承習事としての祭りとフォーラム・電子掲示板—  
前田稔（東京学芸大学）

- 
- B4) 教科書準拠の提示用コンテンツを活用した授業実践と評価  
高橋純（富山大学），堀田龍也（メディア教育開発センター），  
青木栄太・森下誠太・山田智之（内田洋行），吉田茂喜・江山永（インフォザイン），  
井口紗希子・吉川亜依（富山大学），宮本直子（浜松市立河輪小学校）
- B5) 教室のICT環境と算数における学習指導での活用に関する調査  
石塚丈晴（静岡大学／メディア教育開発センター），堀田龍也（メディア教育開発センター），  
野中陽一（横浜国立大学／メディア教育開発センター），  
高橋純（富山大学／メディア教育開発センター），青木栄太・山田智之（内田洋行）
- B6) 携帯型ゲーム機で動作する学習ソフトを用いた家庭学習の効果の検討  
正木寛子・長谷川学・坪倉文恵（ベネッセコーポレーション），  
堀田龍也（メディア教育開発センター）
- B7) 文系大学におけるマルチメディア教育における意識調査からの現状分析  
立野貴之（松蔭大学）
- 

- C4) ウェブカンファレンスによる教育映像を活用した海外地域理科現職再教育の効果  
吉田雅巳・ペンタム ピヤワン（千葉大学）
- C5) 日本語トレーニングにおける国際ライブビデオ会議の効果  
ペンタム ピヤワン・吉田雅巳（千葉大学）
- C6) ヴァーチャルチームによるカリキュラムの共同開発を可能にするソフトウェア  
PERPELESCU FLORIN（名古屋大学大学院）
- C7) An Analysis of Pedagogical Competency Requirements of Specific Contents in the Revised  
Mathematics Curriculum for Whiteboard-LCD Projector Mediated Learning  
フォイ ディーン・吉田雅巳（千葉大学）

#### 14:50-16:05 午後の部第二部

- A8) 学校図書館利用の実践をふまえた情報科教員養成の検討  
鍋島尚子（湘南工科大学／東京学芸大学附属世田谷中学校）
- A9) CALL教材と疑似体験を取り入れた授業デザインと評価  
近藤睦美（関西大学大学院），石川保茂（京都外国語短期大学），  
クレイグ スミス（京都外国語大学）
- 
- B8) 探求型学習過程の分析を通じた学校図書館利用教育カリキュラムの検討  
庭井史絵（慶應義塾普通部）
- B9) 特別な教育的ニーズをもつ児童生徒に対する調べ学習の支援の在り方  
松戸宏子（コロンビア大学ティーチャーズカレッジ日本校）
- B10) 一次情報探索による司書教諭のメディアリテラシー実践の試み  
福本徹（国立教育政策研究所）
- 
- C8) 学校広報を前提としたウェブサイト導入プログラム  
豊福晋平（国際大学）
- C9) 非CGI環境で稼働する学校サイトCMS開発とWeb2.0機能の実装  
町田智雄（横浜市立千秀小学校），豊福晋平（国際大学）
- C10) 女性に理解しやすい数学テストのデザイン研究  
周村諭里・森江里美・柳沢昌義（東洋英和女学院大学）

---

●参加費用：参加費は無料ですが、研究会報告集の年間予約購読代金を支払済みの本学会会員以外の方は、報告集代として1,000円を当日受付にてお支払いください。

●交通案内：【新宿から】小田急線で約40分「玉川学園前」下車  
急行・各駅停車の乗り継ぎ、新宿方面以外の乗り継ぎにつきましては以下をご参照ください。

<http://www.tamagawa.jp/access/index.html>

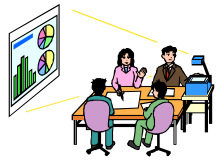
今回は大学の施設ではなく、併設校である玉川学園の校舎を会場として使用します。大学と同一キャンパス内にありますが、駅からは徒歩15分程度かかります。事前に以下のキャンパスマップで場所をご確認の上お越しください。キャンパスマップ上55番の「高学年校舎」2階になります。

<http://www.tamagawa.jp/access/campusmap.html>

●お知らせ：研究会後に懇親会を予定しています。当日参加も可能ですが、ご参加いただける方は事前に上記河西までメールでご連絡いただけましたら幸いです。

---

## 研究会の発表募集



テーマ 教育システム・教材開発のためのICT活用／一般

- 日 時：2008年12月20日（土）
- 会 場：いわき明星大学
- 開催担当：渡邊 景子（いわき明星大学）
- 申込締切：2008年10月20日（月）
- 原稿提出：2008年11月20日（木）

●募集内容： 秒進分歩で進化し多様化するICT技術と同様に、その教育利用もまた、めまぐるしい速さと広がりを持って進展しています。今回の研究会では、計画段階の教育システム・教材の紹介から、実際に稼働・実践しているものまで、「ICT技術の活用」に焦点を当てた研究を募ります。特に高価な装置がなくてもできる身近な技術の活用事例やアイデア等、実践者の方々からの発表を歓迎し、議論を深めたいと思います。

また、上記のテーマにはこだわらない教育工学一般における発表も幅広く募集します。

●申込方法：

研究会Webページよりお申し込みください。

<http://www.jset.gr.jp/study-group/>

●申込期限：2008年10月20日（月）

締切後1週間以内に、申込時に登録されたアドレスに発表の採択結果と執筆要項を電子メールにて送付いたします。

●原稿提出期限：2008年11月20日（木）

原稿の提出はPDF形式で、研究会Webページの「発表申込フォーム」より、発表申込時に発行された「受付キー」を使用してご登録下さい。尚、期限を過ぎた場合はキャンセルしていただく場合があります。

## 今後の研究会の開催予定

開催日	募集テーマ（予定を含む）	開催場所
2009年 3月 7日	ICTの教育活用と授業設計／一般	椋山女学園大学
2009年 5月 16日	ICTを活用したFD／一般	徳島大学
2009年 7月 4日	教科教育学と教育工学の交差点／一般	宮崎大学

●発表申込み締切は概ね開催日の2ヶ月前となります。

●研究会に関するご意見・ご希望、研究会テーマ・企画などありましたらお気軽に研究会幹事までお寄せ下さい。

E-mail: [study-group-core@jset.gr.jp](mailto:study-group-core@jset.gr.jp)

## 年間予約購読のお勧め



●年間購読：研究会報告集の年間予約購読価格は郵送料込みで3,500円です（当日売りは割高になります）。年間5冊、合計500ページ前後で、各研究会平均20件程度（平成18年度実績）の研究発表が掲載されます。詳しくは、学会本部事務局までお問い合わせください。

【学会本部事務局】〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7マルキビル

TEL/FAX：03-5740-9505 E-mail: [office@jset.gr.jp](mailto:office@jset.gr.jp)

## 研究会の開催報告

●日 時：2008年7月5日

●会 場：金沢大学

●発表件数：21件

●参加者数：62名

2008年7月5日（土）、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属教育実践支援センターにおいて、「言語力を育む授業作り/一般」をテーマに、研究会を開催いたしました。ネットワークを介しての状況に応じた言葉の運用能力の向上や、情報活用に関わる諸力の向上を目指した実践、教員養成学部・教職大学院において今日的課題に応ずることのできる実践力豊かな教員を育てるためのICT活用も含めた実践研究など、多岐にわたっての発表が行われました。

直近にウィーンにて開催されたED-Mediaなどの影響もあってか、ややこぢんまりとした会となりましたが、各会場では活発な意見交換がなされ、多くの方々に議論に参加していただくことができました。当日は好天に恵まれた分、非常に暑い日となりましたが、参加いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。



（担当：金沢大学 加藤隆弘）

# 日本教育工学会論文誌 論文募集

## 特集号「協調学習とネットワーク・コミュニティ」のご案内（第二報）

近年、進展著しい協調学習研究ですが、学習コミュニティをどう把握・デザインするかという研究はまだ緒についたばかりです。今後は、協調学習とそれが展開するコミュニティの構築を支援する研究を促進する必要があります。そこで本特集号では、コミュニティをデザインし、支援するという観点を含む学習環境研究を集約し、協調学習やその支援テクノロジーの「社会的なデザイン方針」についての総括を目指します。特集号の趣旨に適した理論的なレビュー論文や考察論文、また現在展開されている教育実践による実証的研究論文の投稿を期待しています。

### 1. 対象分野

- (1) 多様な学習者ネットワークを創造するための協調学習の利用
- (2) ブログやSNSといったICTを利用した学習環境のデザイン、およびその実践
- (3) 学習者共同体のデザインと、その学習効果の実証的な検討
- (4) エスノグラフィなどの手法を用いた学習者ネットワークの分析
- (5) 学習活動のネットワーク構造の数量的な分析（潜在構造分析、ネットワーク分析など）
- (6) 実社会での学習・熟達化の過程に関する調査研究、モデルの提案
- (7) 教室や道具などの学習環境のデザインが学習者共同体に与える影響の分析

### 2. 募集論文の種類

通常の論文誌と同様に、「論文」「資料」「寄書」を募集します。投稿規程ならびに査読は、通常の論文誌の場合と同じです。なお、「ショートレター」として既に掲載されている内容を発展させ、「論文」として投稿することも可能です。ただし、単に分量を増やして詳細に説明しただけでは発展させたことになりませんので、ご注意ください。

### 3. 論文投稿締め切り日（2009年11月発行予定）

投稿原稿を2月9日までに電子投稿をお願いします。ただし、2月16日までは、論文を改訂することができます。従来の特集号の場合とは異なり、締め切りの延長は行わない方針です。

投稿原稿提出締め切り（電子投稿）：2009年2月9日（月）

最終原稿提出締め切り（電子投稿）：2009年2月16日（月）

### 4. 論文投稿の仕方

原稿は、「原稿執筆の手引」(<http://www.jset.gr.jp/thesis/index.html>)に従って執筆し、学会ホームページの会員専用Webサイトから電子投稿してください。郵送による投稿は受け付けないことになりました。

### 5. 問い合わせ先

電子メール：tokushu2009@jset.gr.jp

Tel/Fax：03-5740-9505 日本教育工学会事務局

### 6. 特集号編集委員会

委員長：大島 純（静岡大学）

幹事：大島律子（静岡大学）

委員：稲垣成哲（神戸大学）

向後千春（早稲田大学）

鈴木栄幸（茨城大学）

中原 淳（東京大学）

平嶋 宗（広島大学）

宮田 仁（滋賀大学）

山内祐平（東京大学）

副委員長：加藤 浩（メディア教育開発センター）

・舟生日出男（広島大学）

・柏原昭博（電気通信大学）

・澤本和子（日本女子大学）

・鈴木真理子（滋賀大学）

・永田智子（兵庫教育大学）

・堀田龍也（メディア教育開発センター）

・室田真男（東京工業大学）

・山口悦司（宮崎大学）

・久保田賢一（関西大学）

・鈴木克明（熊本大学）

・竹中真希子（大分大学）

・西森年寿（東京大学）

・望月俊男（専修大学）

## 第24回通常総会議事録

日 時：平成20年6月21日(土)12:10～12:40

場 所：東京工業大学 西9号館デジタル多目的ホール

### 1. 出席者数の確認

赤堀会長から、出席者数36名、委任状365名、合計401名の出席であり、定款第47条で定める正会員総数1911名の10分の1を満たし、本総会が成立することが報告された。

議事に先立ち、赤堀会長から第12期副会長の指名において、定款第15条に定める「副会長2名」を越えて指名していることについて説明があった。ただし、理事会運営上の必要性で指名しており、今期においては現状のままとする方針が示された。

### 2. 議案承認の件

#### 1) 第1号議案2007年度(2007. 4. 1-2008. 3. 31)事業報告および収支決算承認の件

中山総務担当理事から事業報告、清水会計担当理事から収支決算が報告された。

また、山西監事から会計処理および収支決算が正確かつ適正に行われていることが報告された。以上の報告に対して、第1号議案を承認した。

#### 2) 第2号議案2008年度(2008. 4. 1-2009. 3. 31)事業計画案および収支予算案承認の件

中山総務担当理事から事業計画、清水会計担当理事から収支予算案が報告された。

なお、2008年度から、次年度分の前受金の取り扱いを変更していることが説明され、本件が理事会で承認された場合は、繰越金を積立金として取り扱う旨の説明があった。

以上の報告に対して、第2号議案を承認した。

今年度の全国大会実行委員長の南部理事から全国大会の準備状況、企画担当理事の美馬理事から次回研修講座の告知があった。

以上をもって、総会が閉会された。

以上

## 第12期第9回理事・評議会(合同)議事録

日 時：平成20年6月21日(土)13:00～13:50

場 所：東京工業大学 第一食堂

出 席：理事 赤堀侃司, 植野真臣, 小柳和喜雄, 木原俊行, 澤本和子, 清水康敬, 中山 実,  
永野和男, 東原義訓, 堀田龍也, 美馬のゆり, 宮田 仁, 室田真男, 矢野米雄  
評議員 石塚丈晴, 稲垣 忠, 久保田賢一, 下田昌嗣, 園屋高志, 永岡慶三, 南部昌敏,  
野中陽一, 長谷川元洋, 前迫孝憲, 柳沢昌義, 吉崎静夫  
監事 山西潤一

事務局：磯野, 服部

1. 第12期第8回理事会議事録を資料のとおり承認した。
  2. 会員の移動について
    - (1) 新入会員： 33名(正会員:15名, 学生会員:15名, 准会員:3名)
    - (2) 退会会員： 5名(正会員: 3名, 学生会員: 2名)
    - (3) 会員種別変更： 8名(正会員へ6名, 学生会員へ1名, 准会員へ1名)
  3. 学会の会計処理について  
清水理事から資料に基づいて, 現状での問題点および新たな会計処理の提案について説明があった。  
また, 学会事務局の問題に関して, 変遷と現状について資料で説明された。
  4. 各種委員会報告について  
大会企画委員会より資料に基づいて, 依頼および報告があった。
  5. 役員からの意見  
評議員および山西監事から, 今後の学会運営について意見が出された。
  6. その他
    - (1) 後援名義使用の承諾について承認した。  
第8回日本情報オリンピック(特定非営利活動法人情報オリンピック日本委員会)
    - (2) 平成21年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について  
赤堀会長から, 標記について推薦依頼を受けたことについて, 選出方法を顕彰委員会に検討を依頼した結果, 過去の論文賞等を考慮して会長と副会長が協議して推薦する旨の説明があり, これを承認し, 選任を会長に一任した。
    - (3) 本学会への広報を確認した。
    - (4) 今後の理事会  
第12期第10回理事会 2008年 7月12日(土)14:40～16:20
- 以上

## 第12期第10回理事会議事録

日 時：平成20年7月12日(土)14:30～16:30

場 所：キャンパスイノベーションセンター 806号室

出 席：赤堀侃司会長，永野和男副会長，矢野米雄副会長，伊藤紘二，植野真臣，小柳和喜雄，  
木原俊行，黒上晴夫，澤本和子，三宮真智子，鈴木克明，清水康敬，中山 実，東原義訓，  
堀田龍也，美馬のゆり，宮田 仁，室田真男

事務局：磯野，服部

1. 第24回通常総会議事録および第12期9回理事評議員会(合同)議事録を資料のとおり承認した。

2. 会員の移動について

(1)新入会員：18名(正会員:6名，学生会員:12名)

(2)退会会員：5名(正会員:3名，学生会員:1名，准会員:1名)

3. 各種委員会報告について

(1)編集委員会

清水編集長から資料に基づいて和文誌，英文誌の編集進捗状況，特集号およびショートレター増刊号の査読進捗状況について報告があった。編集業務の改善を検討していることが報告された。

(2)研究会委員会

堀田委員長から資料に基づいて委員の新任と退任について提案があり，これを承認した。今後の研究会の準備状況について報告があった。

(3)企画委員会

美馬委員長から資料に基づいて委員の新任と退任について提案があり，これを承認した。2008年6月シンポジウム開催内容および収支決算，夏の合宿研究会(8月9日)について報告があった。

(4)大会企画委員会

木原委員長から大会企画について，企業展示の申込状況，後援依頼などの進捗状況が説明された。

(5)顕彰委員会

三宮委員長より資料に基づいて平成20年度顕彰について報告があり，これを承認した。

論文賞の代表著者には，3分で論文概要を説明してもらうことにした。

(6)選挙管理委員会

澤本委員長から資料に基づいて役員選挙に関する規程案について説明があり，これを承認した。選挙の実施時期について，2009年3月に選挙結果を確定させることを確認した。

(7)国際交流委員会

次回大会での交流内容を確認した。

(8)総務・会計

委員の交代時期について，編集委員会，広報委員会について確認依頼があった。

(9)広報委員会

宮田理事から資料に基づいてJSETニューズレター160号・161号の台割案が示され，ページ数の構成について検討した。

4. その他

(1)FDの義務化に対応した研修活動についてWGを設置について

赤堀会長からWGの設置について提案があり，これを承認した。

(2)後援名義使用の承諾について承認した。

・WorldCALL 2008(外国語教育メディア学会)

(3)本学会への広報を確認した。

(4)今後の理事会

第12期第11回理事会 2008年 9月20日(土)14:30～16:30

以上



— 新入会員 (2008年5月7日～2008年7月7日) —

■正会員 21名

甲斐 勝二 (福岡大学)  
水野 邦太郎 (福岡県立大学)  
青木 謙二 (鹿児島大学)  
伊豆原 久美子  
島田 希 (信州大学)  
西尾 由里 (茨城大学)  
佐々木 史織 (慶應義塾大学)  
飯野 直子 (熊本大学)  
石川 保茂 (京都外国語大学)  
八尋 秀一 (九州女子大学)  
森田 徹 (久留米大学)  
渡辺 博芳 (帝京大学)  
坂井 美恵子 (大分大学)  
長谷 典昭  
南 和美 (伊勢市立御園中学校)  
須藤 智 (にかほ市立仁賀保中学校)  
中池 竜一  
(京都大学大学院教育学研究科)  
殷 成久 (九州大学)

元木 章博 (鶴見大学)  
三好 孝治 (広島工業大学)  
小島 崇義

■学生会員 27名

宮里 智恵 (広島大学大学院)  
新目 真紀 (名古屋工業大学大学院)  
PERPELESCU FLORIN  
(名古屋大学大学院)  
見越 孝介 (東京工業大学大学院)  
渡辺 敬宣 (早稲田大学大学院)  
秋長 幸依 (大阪大学大学院)  
佐々木 道史 (岩手県立大学大学院)  
野中 陽一朗 (広島大学大学院)  
瀧本 祐介 (早稲田大学大学院)  
中村 純子 (東京学芸大学大学院)  
豊増 佳子 (総合研究大学院大学)  
四通 悠志 (広島国際大学大学院)  
安藤 睦 (明星大学大学院)  
黒星 良太 (広島国際大学大学院)

諏訪 純代 (名古屋大学大学院)  
阿部 咲香 (大東文化大学大学院)  
錦織 俊之 (東北大学大学院)  
山下 祐一郎 (東北大学大学院)  
岸野 龍平 (東北大学大学院)  
張 海 (大阪大学大学院)  
坂本 篤郎 (東京大学大学院)  
石坂 洋輔 (神戸大学大学院)  
菊地 伸 (上越教育大学大学院)  
則竹 俊宏 (名古屋大学大学院)  
井原 雄人 (早稲田大学大学院)  
西川 嘉重 (広島国際大学大学院)  
細見 隆昭 (兵庫教育大学大学院)

■准会員 3名

堤 宇一  
(株式会社日立総合経営研修所)  
木村 友美 (インターレクト株式会社)  
松本 喜以子

学会日誌

2008年

9月6日(土) 研究会「学校図書館と情報教育」(玉川大学)  
9月20日(土) 理事会  
10月11日(土)～13日(月) 第24回全国大会(上越教育大学), 理事・評議員会  
11月29日(土) 理事会  
12月20日(土) 研究会「教育システム・教材開発のためのICT活用」(いわき明星大学)

2009年

1月24日(土) 理事会  
3月7日(土) 研究会「ICTの教育活用と授業設計」(椋山女学園大学)  
3月21日(土) 理事会  
5月16日(土) 研究会「ICTを活用したFD」(徳島大学)  
7月4日(土) 研究会「教科教育学と教育工学の交差点」(宮崎大学)

お問い合わせ先 (Eメールアドレス)

- ◆ 論文投稿に関するお問い合わせ・・・編集委員会 (editor@jset.gr.jp)
- ◆ 研究会の開催についてのお問い合わせ・・・研究会事務局 (study-group-core@jset.gr.jp)
- ◆ 全国大会の開催についてのお問い合わせ・・・大会企画委員会 (taikai2008@jset.gr.jp)
- ◆ ニュースレター編集に関するお問い合わせ・・・広報委員会 (kouhou@jset.gr.jp)
- ◆ その他のお問い合わせ・・・学会事務局 (office@jset.gr.jp)

広報委員会

編集長:清水康敬, 広報委員長:赤倉貴子, 広報副委員長:宮田 仁,  
委員:矢野米雄, 伊藤剛和, 香山瑞恵, 神月紀輔, 皆川 武, 三輪吉和 E-mail:kouhou@jset.gr.jp

日本教育工学会ニュースレター No.160

2008年08月27日

発行人 赤堀 侃司

発行所 日本教育工学会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル

TEL / FAX: 03-5740-9505 E-mail: office@jset.gr.jp

http://www.jset.gr.jp/

郵便振替 00180-2-539055